

科目名	公衆栄養学	科目分類	<input type="checkbox"/> 基礎教育科目 <input checked="" type="checkbox"/> 専門教育科目 <input checked="" type="checkbox"/> 卒業必修 <input checked="" type="checkbox"/> 栄養士必修 <input type="checkbox"/> 選択
英文表記	Public Health Nutrition	開講年次	<input type="checkbox"/> 1年 <input checked="" type="checkbox"/> 2年
ナンバリング	NG240G	開講期間	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中
ふりがな	くりもり すみこ	授業形態・修得単位	講義・2単位
担当教員名	栗盛 寿美子	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面のみ <input type="checkbox"/> 遠隔のみ <input type="checkbox"/> 対面・遠隔併用
		実務家教員担当科目	<input type="checkbox"/>
授業のテーマ	わが国や諸外国の健康・栄養問題に関する動向とそれらに対応した栄養政策、社会や生活環境の特徴に基づいた公衆栄養活動の進め方が理解できる。		
授業概要	公衆栄養学の概念と歴史、公衆栄養活動を通じての健康維持・増進、わが国と諸外国の栄養政策、公衆栄養における疫学、栄養活動の現状と問題点、公衆栄養のマネジメント・プログラムの展開について講義を行う。行政栄養士としての公衆栄養に係る実務経験を活かし、現状や課題の具体例を取り入れた授業を行う。		
到達目標	①集団や地域の特性に即した公衆栄養活動についての理解を深め基礎的知識を習得する。 ②日ごろから集団や地域の健康や栄養情報に関心を持ち課題を発見することができる。 ③栄養士として食と栄養の面から社会に貢献しようとする意欲を学習に結びつける。		
授業時間外の学習	事前に次回の授業個所を説明するので教科書を読み予習しておくこと。(週60分以上) 毎回の授業の最初に前回の授業内容に係る小テストをするので、復習をしておくこと。(週60分以上) 県・市町村が行っている健康づくり対策に関心を持ち調べること。		
履修条件	指定する教科書を必ず用意すること。		
授業計画			
第1回	テーマ：ガイダンス・公衆栄養学の概念・公衆栄養活動の歴史		
第2回	テーマ：わが国の健康・栄養問題の現状と課題（1）健康状態の変遷・少子高齢化社会と健康・栄養問題（人口構成・疾病構造の変化）		
第3回	テーマ：わが国の健康・栄養問題の現状と課題（2）食生活の変遷（国民健康・栄養調査）		
第4回	テーマ：わが国の健康・栄養問題の現状と課題（3）食糧需給と自給率		
第5回	テーマ：わが国の栄養・食料政策（1）公衆栄養活動と関連行政・法規（組織・栄養士法・地域保健法・健康増進法・食育基本法・その他）		
第6回	テーマ：わが国の栄養・食料政策（2）健康づくり施策の変遷（国民健康づくり運動・食育推進計画）		
第7回	テーマ：わが国の栄養・食料政策（3）栄養・健康指導のガイドライン（食生活指針・食事バランスガイド）		
第8回	テーマ：わが国の栄養・食料政策（4）栄養・健康指導のガイドライン（運動・休養・睡眠指針）		
第9回	テーマ：公衆栄養マネジメント（1）公衆栄養のマネジメントサイクル		
第10回	テーマ：公衆栄養マネジメント（2）日本人の食事摂取基準		
第11回	テーマ：栄養疫学（概要・食事調査の方法と活用）		
第12回	テーマ：公衆栄養プログラムの展開（1）公衆栄養活動と行政栄養士の業務		
第13回	テーマ：公衆栄養プログラムの展開（2）食環境づくりのためのプログラム		
第14回	テーマ：公衆栄養プログラムの展開（3）地域集団の特性別プログラム		
第15回	テーマ：諸外国の健康栄養政策		
第16回	定期試験		
テキスト	芦川修貳監修「エスカパーシック公衆栄養学概論」最新版 同文書院		
参考文献・資料	「管理栄養士、栄養士必携」公益社団法人 日本栄養士会編 第一出版		
成績評価の方法	定期試験60%、課題20%、小テスト20% 出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。		

成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
オフィスアワー	授業前後に、教室で質問等を受けます。
受講生に望むこと・受講のルール	テキストの予習・復習を行い授業に望むこと。提出物の期限を守ること。